

09月24日(日)開催

第2998回例会 兵庫県山岳連盟同調

楽しく学べる植物観察・パートⅡ

「六甲山地の初秋を観察」の報告

Y.A (兵岳連/自然保護委員長)

写真 M.R (布引支部・広報)

5月28日(日)に行った植物観察・パートⅠ「風薫る裏六甲水無谷周辺へ」から早や4ヶ月が経ちました。寒さに閉じ込められていた裏六甲も、初夏から夏にむけての植物たちが、華やいだ姿を見せてくれた観察ハイクであったと思います。

今回のパートⅡは、盛夏を経て初秋に向かう六甲山上山地に植生する草花を観察して頂こうとの思いで企画を致しました。



出発前のあいさつ/六甲記念碑台にて

コースはく記念碑台～丁字が辻～三国池～縦走路～穂高湖(昼食)～摩耶山掬星台。ご参加下さった皆さんに、少しでも説明が行き届くようにとの思いで、Tさん、Nさん、そして私の3名で班を編成。講師を快くお引き受け下さっているお二人には感謝の気持ちで頭が下がります！

記念碑台を出発。いつもですと六甲山自然保護センター・ガイドハウスの植物観察案内役でお連



スズメバチ注意!の看板に、虫よけ片手のY講師

れる自然観察路経由とするのですが、お馴染みのコースですので、丁字が辻までは舗装路を歩き、観察は無しとしました。

丁字が辻からは山荘路の縁の植物を観察。六甲山ではあまり見ることの少ないツルアジサイを観察して頂きました。又、春の山菜の王様タラノキや、ニワトコ(別名を接骨木(せっこつぼく)\*骨折時に湿布として使用したため)など、興味を持って頂ける植物も見ることが出来ました。



メモを取る皆さんも真剣そのもの!

小休止をした三国ヶ池では、六甲山上にある池のほとんどが人工池であることや、その池は天然氷を取る目的で作られたことなど、少し歴史にも触れました。その池も今はそんな面影は無く、六甲山の自然に溶け込んだ趣のある静かな佇まいでハイカーを迎えてくれています。



参加者に解説されるN講師さん

ドライブウェイを渡り縦走路を下って行く途中、ミズナラの木のあたりに「スズメバチ注意!」の張り紙が2ヶ所あったので足早に通り過ぎ、ベニドウダンなどを見ながら穂高湖へ。昼食後は徳川道を少し下り、最初の分岐より左・摩耶山へ向いました。分岐付近ではトウゴクシソバツナミ、

又、湿った所にはアキチョウジの蕾、シュウモン  
ジシダなどが見られ、山上への車道に出てからは  
おしゃべりを楽しみながらウリハタカエデやクマ  
ノミズキなどを観察し、摩耶山天上寺前のバス停  
前で解散と致しました。

天 候 晴れ

担 当 例会・自然保護委員会

山岳連盟/自然保護委員会

参加者 36名 内当会員 29名